令和元年度（２０１９年度）産山学園便り

夢創造



オープニング、総合運動・ダンス部の発表は躍動的でした。

令和元年１１月１１日（月）no.２３　文責：上田

学習発表会　すべての人の笑顔のために

９日（土）、本年度の産山学園学習発表会を行いました。ご家族、地域の大勢の皆さんに、学園生の発表をご覧いただきありがとうございました。

閉会式では講評として「学園生一人一人に、“エール”を送る友や家族がいます。WE　HAVE A　DREAM　産山学園は“感謝”を忘れず、夢をつむぐ子どもたちを育てていきます。」と締め括りました。“エール”は８・９年生が演じてくれた劇のタイトルでもありましたが、今回の学習発表会で学園生一人一人に向けられる家族や地域の皆さんの温かい励ましであり、“感謝”気持ちをもって期待に応えたいという思いを伝えたいと思いました。





さて、今年の学習発表会では、１ｓｔ・２ｎｄ・３ｒｄの各ステージで、自分や家族、地域の「ヒト・モノ・コト」との関わりを通して学んだことを『創造～すべての人の笑顔のために～』のテーマのもと発表しました。

３・４年生の『産山・阿蘇見学旅行』であれば、地域探検、社会科見学などを通して出会った人（ヒト）、ゴミ分別や草原に関わる事柄（コト）などについての学びが紹介されました。発表にあった子どもたちの「なぜ、世界自然遺産ではなく、世界文化遺産なんだろう」という疑問は、私たち大人にもそう簡単には答えられない、すばらしい問いだと思いました。他学年の発表にもすばらしい問いかけがいくつもありました。子どもの着眼点に驚かされました。産山学園では、これからも産山だからこその学びを大切にしたいと思います。



観覧いただいた皆さんからの感想もお待ちしています。子どもたちにも伝えたいと思います。